

# 令和元年度秋田県埋蔵文化財センター運営協議会 要旨

1. 日 時：令和元年6月18日（火） 14:00～16:10

2. 場 所：秋田県埋蔵文化財センター 第1研修室

3. 出席者

委 員（8名）

相場 勝也 委員（仙北地域振興局総務企画部地域企画課長）※堀川克利委員代理出席  
大西 英子 委員（柵の案内人 ほたるの会）  
小松 正夫 委員（秋田考古学協会会長） \* 委員長  
嵯峨 康弘 委員（南教育事務所仙北出張所長）  
高橋 規子 委員（大仙市立高梨小学校長）  
高橋 正規 委員（美郷町立千畑小学校長） \* 副委員長  
田口 雅人 委員（大仙市立神岡小学校長）  
渡部 育子 委員（秋田大学名誉教授）

※ 欠席者

委員（2名）

瀬田川 仁 委員（横手市立雄物川小学校長）  
山崎 裕子 委員（ロード電子工業株式会社代表取締役社長）

事務局（8名）

谷地 薫 所長  
清水 達也 副所長  
柴田 卓也 副主幹(兼)総務班長  
袴田 道郎 主任学芸主事(兼)調査班長  
磯村 亨 主任文化財専門員(兼)中央調査班長  
村上 義直 副主幹(兼)資料管理活用班長  
吉川耕太郎 副主幹(兼)弘田柵跡調査事務所班長  
鈴木 裕 学芸主事

4. 次 第

(1) 報 告

ア 平成30年度事業報告

① 県内遺跡発掘調査概要

- ・ 久保田城跡（渋江屋敷跡）
- ・ 史跡弘田柵跡第152次調査
- ・ 史跡弘田柵跡関連遺跡の調査

② 活用事業概要

- ・ 各種活用事業別参加者数の推移及び学校の利用状況
- ・ 平成30年度史跡弘田柵跡調査成果の普及と関連活動

#### イ 令和元年度事業計画

- ・ 令和元年度発掘調査・整理、確認調査一覧
- ・ 令和元年度活用普及事業計画
- ・ 令和元年度払田柵跡調査事務所資料管理活用計画

#### (2) 所内施設・企画展見学、休憩

#### (3) 今年度事業についての提言

### 5. 委員からの主な意見

#### (1) 提言

- ◎ 情報提供したい対象者にマッチした時間帯で放送してもらえよう「FMはなび」など県内のコミュニティFM局等と連携・交渉するなど、活用してはどうか。
- ◎ 学校教育現場での活用プログラムの周知については、学習活動案の実際をホームページ上に載せることにより具体的な利用が進むと思われる。
- ◎ 出張展示・セミナーが所在地の大仙市内では行われていない。市内の施設を借りて実施するなど「入口」をつくることで、来所の呼び水とならないか。
- ◎ 出前授業とか貸出キットなどには、学校にいながら本物を目にすることができるという魅力がある。各地区校長会・教頭会の場でアピールする方法もある。
- ◎ 例えば美郷町の坂本東嶽邸とか、一丈木遺跡の竪穴住居など他の施設や関係機関等と連携してセンターの資源に付加価値を付けていくこともいい。その点で払田柵跡の広大な敷地も魅力がある。
- ◎ 大仙市の「ふるさと博士」事業をとおしてセンターの活動を直接児童生徒に周知することができる。体験的活動は歴史に関心の薄い児童にも魅力を感じると思う。

#### (2) 要望

- 払田柵跡金曜講座をとおして払田地区の人々に勉強してもらいたい。地区に周知できるような広報の仕方をお願いしたい。
- 考古学セミナーのような連続講座をセンターで実施する方向でできないか。
- 新学習指導要領ではそれぞれの学校がふるさととのつながりをさらに深めていくことが求められる。セカンドスクールの利用は学校にとって有益な事業だ。今後利用拡大に向け広報や企画の回数など検討してみてはどうか。

#### (3) その他

- 活用分野の積極的活動は、業務紹介のリーフレットにあるように非常に地味な研究が支えている。考古学は自然科学系の手法に基づくことからお金がかかる。行政の方にも理解をいただきたい。
- 本来の仕事は県内の緊急発掘調査であるが、時代の要請から、活用に努力が求められる。我々委員からの意見に無理と思っても、検討すること自体が大切だ。向上につながる契機となってくれればと思う。